

平成26年11月 東京地区百貨店売上高概況

平成26年12月19日

I. 概況

| | |
|----------------------|--|
| 1. 売上高総額 | 1,459億円余 |
| 2. 前年同月比 | 0.3% (2か月ぶりプラス) |
| 3. 店頭・非店頭の増減 | 店頭0.8%(89.9%) : 非店頭-4.1%(10.1%) ()内は店頭・非店頭の構成比 |
| 4. 調査対象百貨店 | 13社 25店 (平成26年10月対比±0店) |
| 5. 総店舗面積 | 854,956㎡ (前年同月比:-2.4%) |
| 6. 総従業員数 | 19,152人 (前年同月比:-0.7%) |
| 7. 3か月移動平均値 (店舗数調整後) | 4-6月 -6.3%、5-7月 -3.2%、6-8月 -1.6%、 7-9月 0.0%、8-10月 0.5%、9-11月 0.2% |

[参考] 平成25年11月の売上高増減率は3.9% (店舗数調整後)

【11月売上の特徴】

- (1) 東京地区の入店客数は、休日日数の増加や各店の営業努力などを背景に、前年実績を1%程度上回る水準で推移した。
- (2) ファッション分野では、高めの気温を背景に、婦人コート等の防寒衣料が不振(衣料品:-2.4%)だった半面、紳士服(+2.5%)と子供服(+2.9%)は5か月連続で前年クリアした。また、ハンドバッグやアクセサリ等の身のまわり品(+3.9%)も、付加価値志向の高まりで、ラグジュアリーブランド中心に好調を維持し5か月連続プラスとなる一方、雑貨(+5.1%)と食料品(+0.2%)もそれぞれプラスを確保した。
- (3) なお、化粧品については前月に続き、インバウンド効果を活かして二桁増を確保する一方、美術・宝飾・貴金属(+3.3%)が、消費税率引き上げ後初めて前年実績をクリアするなど、高級時計などを中心に、全国に先駆けて復調の兆しを見せている。
- (4) 季節商材のクリスマスケーキ、おせち、歳暮の受注状況については、いずれもほぼ前年並みで推移した。なお、歳暮の動きでは、ネット受注のシェアが高まると共に、ご自宅用に購入(自家需要)するケースも増加している。
- (5) 東京地区の12月中間段階(12月15日)までの商況は、前年同期比で日曜日が1日少ないこともあって、概ね前年比2%のマイナスで推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
①増加した: 11店、②変化なし: 5店、③減少した: 3店
- (3) 11月歳時記(文化の日、勤労感謝の日、七五三、歳暮)の売上(同上/有効回答数9店舗)
①増加した: 3店、②変化なし: 4店、③減少した: 2店

東京地区百貨店 売上高速報 2014年11月

| | 売上高(千円) | 構成比(%) | 対前年増減(-)率(%) |
|----------------|--------------------|--------------|--------------|
| 総 額 | 145,920,910 | 100.0 | 0.3 |
| 紳士服・洋品 | 13,682,053 | 9.4 | 2.5 |
| 婦人服・洋品 | 27,541,405 | 18.9 | -4.6 |
| 子供服・洋品 | 2,307,150 | 1.6 | 2.9 |
| その他衣料品 | 2,677,492 | 1.8 | -7.9 |
| 衣 料 品 | 46,208,100 | 31.7 | -2.4 |
| 身のまわり品 | 18,794,269 | 12.9 | 3.9 |
| 化粧品 | 8,849,745 | 6.1 | 11.3 |
| 美術・宝飾・貴金属 | 8,912,038 | 6.1 | 3.3 |
| その他雑貨 | 6,496,788 | 4.5 | -0.1 |
| 雑 貨 | 24,258,571 | 16.6 | 5.1 |
| 家 具 | 1,672,735 | 1.1 | -7.7 |
| 家 電 | 1,461,590 | 1.0 | -20.9 |
| その他家庭用品 | 4,961,478 | 3.4 | 5.0 |
| 家 庭 用 品 | 8,095,803 | 5.5 | -3.4 |
| 生 鮮 食 品 | 6,640,530 | 4.6 | -2.2 |
| 菓 子 | 9,997,486 | 6.9 | 0.3 |
| 惣 菜 | 8,022,635 | 5.5 | -1.6 |
| その他食料品 | 14,881,441 | 10.2 | 2.1 |
| 食 料 品 | 39,542,092 | 27.1 | 0.2 |
| 食 堂 喫 茶 | 3,143,518 | 2.2 | 0.2 |
| サ ー ビ ス | 2,470,734 | 1.7 | 6.5 |
| そ の 他 | 3,407,823 | 2.3 | -5.6 |

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

| | | |
|---------|------------------------|------|
| 商 品 券 | 4,704,291 千円 | -3.3 |
| 従 業 員 数 | 19,152 人 | -0.7 |
| 店 舗 面 積 | 854,956 m ² | -2.4 |

| | | | |
|---------|--------|----|--------|
| 営 業 日 数 | 30.0 日 | 前年 | 30.0 日 |
|---------|--------|----|--------|

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品が5か月連続、雑貨が2か月連続、食料品が3か月ぶりのプラスとなった。また、衣料品が2か月連続、家庭用品が2か月ぶりのマイナスとなった。紳士服・洋品、子供服・洋品、化粧品が5か月連続、菓子が4か月連続、美術・宝飾・貴金属、その他食料品が8か月ぶり、その他家庭用品が2か月ぶりのプラスとなった。その他では、その他雑貨と生鮮食品が先月より改善をみせた。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

| 商品別 | 売上前年比 | 寄与度 | トレンド |
|---------------|-------------|-------------|------------------|
| 総額 | 0.3 | — | 2か月ぶりプラス |
| 紳士服・洋品 | 2.5 | 0.2 | 5か月連続プラス |
| 婦人服・洋品 | -4.6 | -0.9 | 2か月連続マイナス |
| 子供服・洋品 | 2.9 | 0.0 | 5か月連続プラス |
| その他衣料品 | -7.9 | -0.2 | 3か月連続マイナス |
| 衣料品 | -2.4 | -0.8 | 2か月連続マイナス |
| 身のまわり品 | 3.9 | 0.5 | 5か月連続プラス |
| 化粧品 | 11.3 | 0.6 | 5か月連続プラス* |
| 美術・宝飾・貴金属 | 3.3 | 0.2 | 8か月ぶりプラス* |
| その他雑貨 | -0.1 | 0.0 | 3か月連続マイナス* |
| 雑貨 | 5.1 | 0.8 | 2か月連続プラス |
| 家具 | -7.7 | -0.1 | 8か月連続マイナス |
| 家電 | -20.9 | -0.3 | 2か月ぶりマイナス |
| その他家庭用品 | 5.0 | 0.2 | 2か月ぶりプラス |
| 家庭用品 | -3.4 | -0.2 | 2か月ぶりマイナス |
| 生鮮食品 | -2.2 | -0.1 | 8か月連続マイナス* |
| 菓子 | 0.3 | 0.0 | 4か月連続プラス* |
| 惣菜 | -1.6 | -0.1 | 4か月ぶりマイナス* |
| その他食料品 | 2.1 | 0.2 | 8か月ぶりプラス* |
| 食料品 | 0.2 | 0.0 | 3か月ぶりプラス |
| 食堂喫茶 | 0.2 | 0.0 | 8か月ぶりプラス |
| サービス | 6.5 | 0.1 | 3か月ぶりプラス |
| その他 | -5.6 | -0.1 | 4か月連続マイナス |
| 商品券 | -3.3 | -0.1 | 3か月ぶりマイナス |

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>